

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4077700096
法人名	社会福祉法人 ふたば会
事業所名	グループホームふたば
所在地	福岡県三井郡大刀洗町大字高樋 1 2 4 5 - 1 (電 話) 0 9 4 2 - 7 7 - 0 8 7 7

評価機関名	福岡県社会福祉協議会		
所在地	福岡県春日市原町 3 - 1 - 7		
訪問調査日	平成20年1月22日	評価確定日	平成20年3月11日

【情報提供票より】 (平成20年1月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 1 4 年 4 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8 人 常勤 8人, 非常勤 0人, 常勤換算 7.37人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2 階建ての ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,010 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷 金	有 (円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	160 円	昼食	310 円
	夕食	310 円	おやつ	170 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (平成20年1月8日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.6 歳	最低	73 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	神代病院・嶋田病院・門司歯科
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園風景の中にとけ込んだ事業所は、母体法人の運営する特別養護老人ホームと隣接し、1階はデイサービス、2階が事業所となっている。内部は、広いダイニングとそれに続くリビングがあり、利用者は、昼間は殆どこの空間の好みの場所でゆったりした時を過ごしている。職員の一人ひとりが生き生きとし、笑顔で穏やかに配慮した言葉かけが見られ、職員を育てる体制が構築されている事が伺える。利用者が成人式や文化祭等町の行事に参加したり、近隣の保育園や地域の子ども会と交流する等、母体法人を含めて地元の人々と積極的に交流することに努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題については、地域との交流では季節の行事に地元の人々を招待したり、事業所からも地域に出かけて行こうと自治会へアプローチする等、具体的な改善に取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、全職員が記載し協議する形で取り組み、その意義を理解している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連事項:外部4、5、6)
	運営推進会議は定期的に開催し、利用者やサービスの実際について報告している。委員からの意見で地域活動に参加し、また事業所に地元の人々を招待する等、サービス向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8、9)
	家族会があり、意見箱を設置している。家族会では、食事のメニュー、防災訓練についての質問、意見があり、その都度説明し、改善出来るものは努力目標に上げ取り組んでいる。また苦情に関する第三者相談窓口の説明も行っている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	成人式や文化祭等、町の行事に参加したり、近隣の保育園や地域の子ども会との交流がある。また専門学校から学生ボランティアを受入れる等、地元の人々と交流することに努めている。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
【I 理念に基づく運営】					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念に「地域福祉の向上に…」とあり、地域密着型の視点を含んだ理念を事業所独自につくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議において理念の共有を図り、日々実践にむけて取り組んでいる。		
2. 地域との支え合い					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	成人式や文化祭等、町の行事に参加したり、近隣の保育園や地域の子ども会との交流がある。また専門学校から学生ボランティアを受入れる等、地元の人々と交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全職員が記載し協議する形で取り組み、その意義を理解している。前回評価での改善課題については、地域との交流では季節の行事に地元の人々を招待したり、事業所からも地域に出かけて行こうと自治会へアプローチする等、具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催し、利用者やサービスの実際について報告している。委員からの意見で地域活動に参加し、また事業所に地元の人々を招待する等、サービス向上に活かしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>意見交換等で行き来し、また事業所便りも持参して、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度に関しては、入居時に利用者及び家族に説明がなされている。職員は制度について内部研修で学び、職員会議で外部研修の伝達講習を行っている。パンフレット、研修記録も保管している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月1回、事業所便りを発行し、金銭管理報告書とともに家族等へ送付している。利用者の暮らしぶりや健康状態について、定期的または状況に合わせ、その都度報告している。行事等の案内及び写真は、手渡ししている。</p>		
9	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会があり、意見箱を設置している。家族会では、食事の献立、防災訓練についての質問、意見があり、その都度説明し、改善出来るものは努力目標に上げ、取り組んでいる。また、苦情に関する第三者相談窓口の説明を行っている。</p>		
10	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は、職員の異動や離職を抑える工夫として、職員として雇用する等、安心して働けるよう配慮している。職員の異動は、事業所の利用者と日常的に馴染みの関係を築いている隣接する特別養護老人ホームの職員に限定し、利用者へのダメージを防いでいる。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
5. 人材の育成と支援					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員採用にあたっては、性別年齢等を理由に排除する事はない。管理者は、職員がやりがいや安心を感じながら働ける職場環境を目指し、配慮している。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>職員は内外研修に参加し、人権、啓発活動に取り組んでいる。外部研修は内部で伝達研修し、テキストや研修記録も保管している。</p>		
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員は能力に応じて内外研修に参加している。職員会議で個人の年間計画を立て、資格取得等目標を持って計画的に学ぶ機会を設けている。職員は、サービス向上のための内部委員会に属し、各自で委員会資料を作成し研修会を定期的に関いている。</p>		
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区介護保険研究会やグループホーム協議会等に参加し、計画担当は他の事業所と人事交流を行っており、ケアサービスの質の向上に努めている。</p>		
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前に家族の見学や、職員が自宅、病院訪問を行い、顔馴染みの関係を築いてから利用できるようにしている。これまでの生活歴、病歴等を詳しく聴取し、利用者が安心して生活になじめるよう工夫している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は本人の気持ちを汲み取り、思いやりを重視している。金柑を煮たり、おはぎの作り方を教えて貰ったりしている。お花の生け方、お茶の作法等高齢者世代の生活習慣、生活文化の大切さを教えて貰う場合も多々あり、その都度学び、支えあう関係を築いている。</p>		
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は日々の言葉や動きから観察力を駆使し、利用者の思い、不安、希望等を推し測り、確認するようにしている。また、家族来訪時には家族の思いを聴取して、情報を得ている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>担当制を取っており、担当者会議で出された意見を元に、気づき、アイデアを取り入れ、本人本位の計画を作成している。介護計画を了承した署名、捺印を本人及び家族から貰っている。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本は3ヶ月に1回見直しをしているが、利用者の状況に応じて現状に即した計画に変更している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者が入院した際には、本人家族、医療関係者と連携を図り、退院支援を行っている。面会時は状態把握に努め、通院や送迎時は必要に応じて家族の協力を得る等、柔軟に対応している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の意向を聴き、かかりつけ医及び事業所の協力医の受診を支援をしている。家族等と受診時の通院介助の方法、情報の伝達方法について話し合い、合意している。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師や医療機関との連携体制や看取りに関する考え方、本人及び家族との話し合いや意思確認の方法に関する指針がある。折りに触れて方針について家族等へ説明を行い、本人・家族・かかりつけ医・職員の全員で共有している。		
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の気持ちを考え配慮した声かけを行い、職員同士で注意を払っている。外部研修で接遇マナーやプライバシーについて受講し、職員の意識向上を図っている。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スケジュールは大まかにあるが、健康管理をしながらその人の希望にそって、臨機応変に柔軟に対応している。利用者の気分転換を目的に、買い物やリハビリ、散歩に同伴する等の支援を行っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者は一緒に準備、食事し片付けも共に行っている。職員は利用者と同じ内容の食事を同じテーブルで食べている。食事の時間は和やかで会話もある。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ほぼ毎日入浴支援を行っている。入浴拒否する人には、毎日の声かけや理由づけ等の工夫をし、一人ひとりのタイミングを見て支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの経験を発揮する場面を作り、洗濯物干し・たたみ、食材の皮むき、配膳、花植え、買い物手伝い等、生活の中で役割、気晴らしの支援をしている。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望にそって体調管理しながら戸外への支援をしている。散歩、買い物等を日常的に行い、ドライブは週1回、外食は年間行事の際に支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中居室、玄関の施錠はしていない。安全性を考え、玄関にはセンサー、アラームを設置している。挨拶をし顔馴染みになる等、近隣に対して協力・理解を得るよう日常的に心がけ、理解を深めている。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成している。年4回、避難訓練を消防署の協力を得て母体法人と一緒に実施している。災害時の自動通報装置を設置している。非常用食料、備品を準備している。地域住民への呼びかけは消防団を通して行っている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養摂取量の記録はあり、栄養士が献立バランスから専門的アドバイスをしている。水分摂取量は、利用者の状態に応じて記録している。	○	一人ひとりの水分摂取量についても、大まかに把握してほしい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的雰囲気に配慮して、天井や壁面等は落ち着いた空間を演出している。食事の時間はBGMが流れ、テレビの音量はちょうどよい。		
33	85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者の馴染みのもの、使い慣れたものを持ち込み、箆笥、テーブル、椅子、家族写真等、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

※ は、重点項目。